

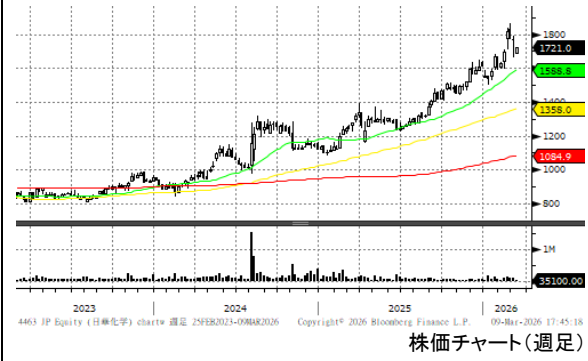
## 日華化学（4463）

担当 近藤 浩之

レーティング： **NEUTRAL** (2025/9/1) → **NEUTRAL**

- ※ 主力は繊維加工用薬剤。クリーニングや電子材料向け薬剤、頭髮化粧品も展開
- ※ 今期から5年間の営業利益は年率7%増の見通し
- ※ 化学品事業のEHD領域、化粧品事業を拡大へ

	売上高 (百万円)	伸び率 (%)	営業利益 (百万円)	伸び率 (%)	経常利益 (百万円)	伸び率 (%)	純利益 (百万円)	伸び率 (%)	EPS (円)	1株配 (円)
連 22/12	50,627	-	2,628	-	3,132	-	2,114	-	134.08	30.00
連 23/12	50,169	-0.9	2,039	-22.4	2,528	-19.3	1,691	-20.0	107.09	32.00
連 24/12	54,099	7.8	3,519	72.6	3,976	57.2	2,754	62.9	174.17	52.00
連 25/12	55,705	3.0	3,847	9.3	3,849	-3.2	2,384	-13.4	150.28	60.00
連 26/12(会社予)	58,500	5.0	4,200	9.2	4,050	5.2	2,800	17.4	176.47	70.00
連 26/12(今村予)	58,500	5.0	4,200	9.2	4,200	9.1	2,900	21.6	182.00	70.00
第2四半期累計期間										
連 25/1-6	27,180	4.4	1,935	19.0	1,752	-12.7	997	-18.1	62.93	30.00
連 26/1-6(会社予)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35.00
株価(2026/3/9)			1,721	円						
発行済み株式数(25/12末)			17,710	千株						
自己株式数(25/12末)			1,794	千株						
時価総額			30,478	百万円						
企業価値(EV)			40,318	百万円						
ROE(25/12実績)			6.9	%						
予想配当利回り(26/12今村予)			4.0	%						
予想PER(26/12今村予)			9.5	倍						
BPS(25/12実績)			2,211.79	円						
PBR			0.8	倍						
CFPS(25/12実績)			349.2	円						
PCFR			4.9	倍						
EV/EBITDA(25/12実績)			5.8	倍						



(注) 22/12期より「収益認識に関する会計基準」等を適用しており、22/12期の伸び率は記載していない。

出所：日華化学、ブルームバーグ、今村証券

### ※ 主力は繊維加工用薬剤。クリーニングや電子材料向け薬剤、頭髮化粧品も展開

化学品事業の主力である繊維加工用薬剤は、国内シェアNo.1だ。繊維産業が盛んなアジアを中心に海外9カ国・地域にも拠点を有し、海外売上高は連結の48%、繊維加工用薬剤の76%を占める。スポーツアパレルの撥水・吸水速乾、インテリアの防汚・防炎、自動車カーシートの難燃・耐久といった機能の付与などに用いられ、現在は「環境 (Environment)」「健康・衛生 (Health)」「先端材料 (Digital)」領域 (EHD) に事業を集中している。

2つ目のセグメントである化粧品事業は、美容室専売品のヘアケア剤やスカルプケア剤等のほか、ODM・OEM（相手先ブランドの受託開発・受託生産）を手掛け、新工場を建設中だ。

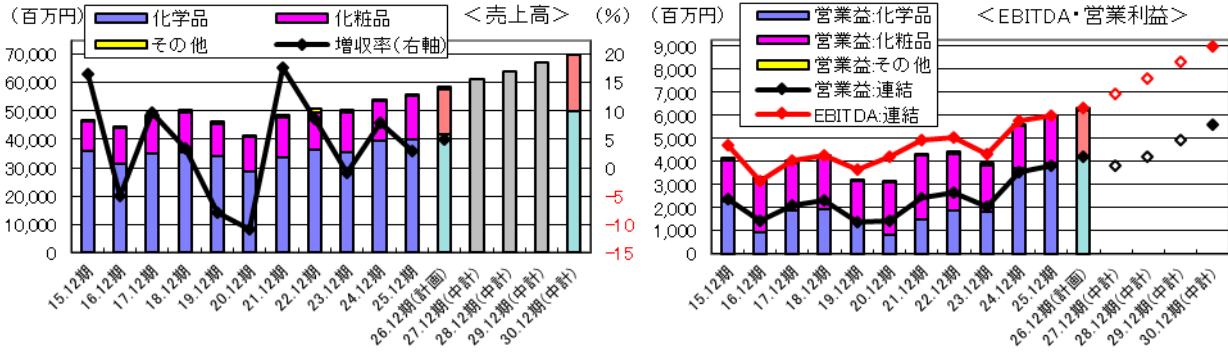
### ※ 今期から5年間の営業利益は年率7%増の見通し

前期（2025年12月期）業績は売上高、営業利益が過去最高となった（資料1、出所：決算短信・補足説明資料・リリース）。化学品事業はEHD製品の販売が増えた。EHD製品は利益率が従来製品より約12ポイント高く、利益率の向上に寄与した。化粧品事業はODMの好調、美容室向け商品の販売強化が押し上げた。一方で経常利益は為替差損益の悪化、純利益は法人税等の増加があり、減益だった。

今期（2026年12月期）会社予想は、売上高、営業・経常・純利益のすべてで過去最高を見込む。また、新たに公表した中期経営計画では「2030年12月期売上高700億円、EBITDA（営業利

益+減価償却費+のれん償却費) 90 億円、営業利益 56 億円) を目標に掲げた。今期以降 5 年間の伸び率は売上高が年率 4.7%、EBITDA が同 8.5%、営業利益が同 7.8%の想定だ。

(資料1) 業績の推移



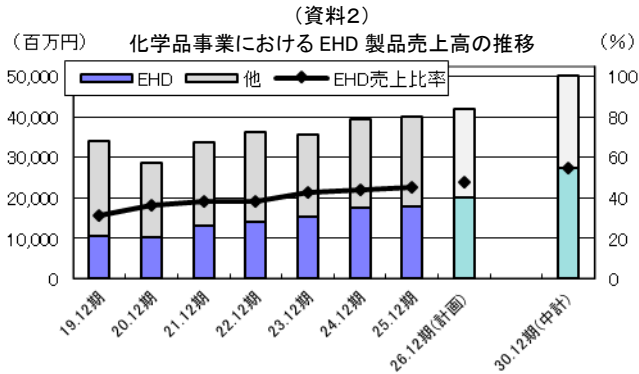
(注) 27.12 期(中計)～29.12 期(中計)は補足説明資料を基にした今村証券予想。営業利益の棒グラフは全社費用等除く。

## ※ 化学品事業の EHD 領域、化粧品事業を拡大へ

中期経営計画の基本戦略はこれまでと大きな変更はなく、①化学品事業の EHD 領域、②化粧品事業—を伸ばす。

### ① 化学品事業の EHD 領域

化学品事業に占める EHD 製品の売上高比率は、今期会社予想において 48% (前期比+2.9 ポイント) の見通しであり、2030 年には 55%へ高める方針だ (資料 2、出所: 補足説明資料)。先端材料 (D) 領域は、半導体製造プロセス (切る、削る、磨く、洗う) で用いられる水溶性の薬剤を提供し、使用後の廃液を回収・リサイクルして再び製品化する「資源循環型ビジネス」を拡大する。環境 (E) 領域は、「フッ素を用いない」撥水剤、カーシートやソファ、衣類などに使用される人工皮革の製造に用いる「水系」ウレタン樹脂、繊維加工工程削減・短縮、排水の公害値低減などに貢献する薬剤の販売に注力する。



### ② 化粧品事業

営業担当を増員し、美容室に対するサポートを強化している。複数ブランドの展開、ODM 強化、東南アジアへの進出も推し進める。この戦略に伴う受注増加に対応するのが、約 1 年後に稼働を予定する新工場だ。約 195 億円 (内補助金 50 億円) を投じ、製造能力は 3 倍に、自動化による人時生産性は 1.5 倍に高める。新工場完成後は減価償却費が高むため、営業利益は来期 (2027 年 12 月期) に減益となった後、増益基調に戻る見込みだ (EBITDA は来期も成長を見込む)。

今村証券による業績予想は、今期が売上高585億円(前期比+5.0%)、営業利益42億円(同+9.2%)、純利益29億円(同+21.6%)。売上高、営業利益は会社予想通り、純利益は会社予想を若干上回るとみた。来期予想は売上高610億円(今期今村証券予想比+4.3%)、営業利益38億円(同▲9.5%)、純利益26億円(同▲10.3%)とする。配当に関しては、今期にDOE(自己資本配当率)が当面の目安である3.0%に達する見通しだ。その後も「DOE向上を継続して検討」との会社方針があることから、今期は会社予想通りの70円(前期比+10円)、来期は7期連続増配となる75円を予想する。投資判断はNEUTRALを継続するが、高い配当利回りが続くと思われるため、配当重視の投資対象として検討に値するとの見方も変更しない。

---

## 【当社の概要】

商号等：今村証券株式会社  
金融商品取引業者 北陸財務局長（金商） 第3号  
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

---

## 【手数料】

国内株式等の売買取引には、約定金額に対して最大1.201750%(税込) (1.201750%に相当する金額が2,612円未満の場合は2,612円(税込))の委託手数料をご負担いただきます。

外国株式(外国ETF、外国預託証券を含む)の外国金融商品市場等における委託取引にあたっては、売買金額(約定金額に外国金融商品市場における手数料と税金等を購入の場合には加え、売却の場合は差し引いた額)に対し、最大0.990%(税込)の国内取次手数料をいただきます。外国金融商品市場での取引にかかる手数料、税金等は国(市場)により異なります。外国株式(外国ETF、外国預託証券を含む)の売買、配当金等の受取り等にあたり、円貨と外貨を交換する際は、外国為替市場の動向をふまえて今村証券が決定した為替レートを適用します。

---

## 【リスクについて】

日本および外国の株式・債券への投資は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより、投資元本を割り込むリスクがあります。

---

## 【アナリストによる証明】

本資料に示された見解は、言及されている発行会社とその発行会社等の有価証券について、各アナリストの個人的見解を正確に反映しており、さらに、アナリストは本資料に特定の推奨または見解を掲載したことに対して、いかなる報酬も受け取っておらず、今後も受け取らないことを認めます。

---

## 【レーティングの定義】

OUTPERFORM：今後12ヶ月間のトータルリターンがTOPIXの予想リターンを10%超上回ると予想される。  
N E U T R A L：今後12ヶ月間のトータルリターンがTOPIXの予想リターンの+10%と-10%の間に入ると予想される。  
UNDERPERFORM：今後12ヶ月間のトータルリターンがTOPIXの予想リターンを10%超下回ると予想される。  
トータルリターン：株価変動率+配当利回り  
目標株価は12ヶ月間の投資を想定しており、将来発行されるレポートで修正されることもあります。

---

## 【免責・注意事項】

本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的とし、信頼できると思われる各種データに基づき作成したものです。正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見・予測等は、作成時点における今村証券の判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。本資料は投資結果を保証するものではありませんので、本資料の内容について第三者のいかなる損害賠償の責任を負うものでもありませんし、本資料に依拠した結果として被った損害または損失について今村証券は一切責任を負いません。投資に関する最終決定はご自身の判断で行ってください。今村証券は本資料に関するご質問やご意見に対して、何ら対応する責任を負うものではありません。

今村証券及びその関連会社、役員が、本資料に記載されている証券もしくは金融商品について、自己売買または委託売買を行うことがあります。

本資料は今村証券の著作物であり、著作権法により保護されております。今村証券の事前の承認なく、また電子的・機械的な方法を問わず、本資料の全部もしくは一部引用または複製、転送等により使用することを禁じます。